

公益社団法人 日本地下水学会
2022年度 事業報告書

本学会における事業は以下のように分類されている。

- 公益事業-1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業
- 公益事業-2 [公2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業
- 公益事業-3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業
- 公益事業-4 [公4]：地下水に関する相談事業
- その他 [他1]：表彰事業
- 共通事業 [共通]：共通事業

それぞれの項目毎に事業報告を記す。

[公1] 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

1. 会誌編集事業

- ① 会誌 64 巻 2～4 号の編集作業を行い発行した。
論文 1 件、短報 1 件、資料 1 件、地下水を語る 1 件、訪問記 3 件を掲載した。
会誌 64 巻は総ページ数 332 ページとなった。
- ② 会誌 65 巻 1 号の編集作業を行い発行した。
論文 2 件、技術報告 1 件、訪問記 1 件の他、論説 2 件と資料 1 件で構成される特集「土砂災害と地下水」を含み発行した。

2. 定期講演会等の主催

- ① (公社) 日本地下水学会春季講演会の開催
日時：2022年5月21日(土)
場所：東京農工大 府中キャンパス
(現地とオンラインのハイブリッド方式にて開催)
参加者数等：講演件数39件、参加者数127名
- ② 第 27 回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会
日時：2022年6月23日(木)～24日(金)
場所：横須賀市文化会館
主催：(公社) 日本地下水学会、(公社) 日本水環境学会、(一社) 廃棄物資源循環学会
(公社) 地盤工学会、(一社) 土壌環境センター
参加者数等：講演件数91件、参加者数384名
- ③ (公社) 日本地下水学会秋季講演会の開催
日時：2022年10月27日(木)～29日(土)
場所：松本商工会議所
(現地とオンラインのハイブリッド方式にて開催)
参加者数等：講演件数59件、参加者数173名

3. 講演会等の共催、後援、協賛

- ① (公社) 日本河川協会日本水大賞委員会主催：第 25 回日本水大賞、後援
- ② 日本学術会議：持続可能な発展のための国際基礎科学年 (IYBSSD2022)、協賛
- ③ 国際水文地質学会 (International Association of Hydrogeologists) 日本支部主催：English Session、2022 年 5 月 21 日、共催
- ④ 日本地球惑星科学連合 (Japan Geoscience Union) 主催：JpGU「流域生態系における物質輸送と循環：源流から沿岸まで」セッション、2022 年 5 月 22 日～27 日、共催
- ⑤ 日本地球惑星科学連合 (Japan Geoscience Union) 主催：オンラインポスターセッション

- ン、2022年5月29日～6月2日、共催
- ⑥ (一社) 日本応用地質学会主催：シンポジウム「気候変動対策と応用地質」、2022年6月17日、後援
 - ⑦ (公社) 地盤工学会 男女共同参画・ダイバーシティに関する委員会主催：一般公開セッションサロン・土・カフェW「地盤工学会におけるダイバーシティの実現」、2022年7月21日、後援
 - ⑧ NPO 法人日本地質汚染審査機構主催：第5回水循環シンポジウム（水循環の恩恵と関東平野）、2022年10月22日、後援
 - ⑨ 石油技術協会主催：令和4年度秋季講演会エネルギー安定供給とカーボンニュートラル推進の両立を目指す社会に向けて～石油開発業界の持続的な役割～、2022年11月1日、協賛
 - ⑩ 地盤工学会関西支部主催：Kansai Geo-Symposium 2022、2022年11月4日、協賛
 - ⑪ 社会地質学会主催：第32回社会地質学シンポジウム、2022年11月25日～26日、後援
 - ⑫ グランド再生可能エネルギー国際会議2022 組織委員会主催：グランド再生可能エネルギー2022 国際会議、2022年12月13日～20日（土、日除く）、協賛
 - ⑬ 国際水文地質学会（International Association of Hydrogeologists）日本支部主催：オンラインセミナー 直下型地震が及ぼす地下水環境への影響：2016年熊本地震からの学び、2023年1月10日、後援
 - ⑭ NPO 法人地中熱&地下水資源活用 NET 主催：第11回トークセッション「足元に眠るエネルギー資源を使う/守る」、2023年2月11日、共催

4. 出版事業

- ① 書籍「みんなが知りたいシリーズ13 地下水・湧水の疑問50」（成山堂書店）の電子書籍（Kindle版）の出版協力を行った。
- ② 連載「はじめてふしぎに気づいた日」（<https://pie.co.jp/atezuka/special/>、2022/8/20～10/27）のうち、絵本「みず」に関連するQ&Aを監修した。

[公2] 地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

1. 講習会事業

- ① 現場調査講習会
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止
現場調査講習会に関するアンケート調査を実施
- ② 地下水シミュレーション講習会
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

2. シンポジウム・セミナー開催事業

- ① 地下水のサロン
第3回「沿岸域地下水における津波の影響」
日時：2022年7月8日（金）18:30～19:30
場所：オンラインにて開催
参加者数：38名
第4回「地下水の硝酸性窒素汚染と要因分解解析」
日時：2022年11月24日（木）19:00～20:00
場所：オンラインにて開催
参加者数：35名
- ② 地下水に関するシンポジウム「トンネルと地下水」
日時：2022年9月17日（土）13:00～18:00
場所：オンラインにて開催
参加者数：115名

- ③ オンラインセミナー「地下水のきほん」
 - 登録者数：90名
 - 第1回「地下水の見方」
 - 日時：2022年12月9日（金）18:30～19:15
 - 参加者数：58名
 - 第2回「みんなで考える地下水のルール」
 - 日時：2023年2月3日（金）18:00～18:45
 - 参加者数：59名
 - 第3回「地下水情報の集め方」
 - 日時：2023年3月17日（金）18:00～18:45
 - 参加者数：45名

3. 見学会の開催

- ① 湧水見学会
 - 日本地下水学会市民コミュニケーション委員会主催
 - 日時：2022年10月15日（土）
 - 場所：和光市
 - 参加者数：34名

4. 地下水に関する出前講演

ホームページ上で地下水に関する出前講座を受け付けたが申し込みはなかった。

[公3] 地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

1. 研究グループ活動

- ① 「地域地下水情報データベース」に文献を追加し、更新した。また、「地域地下水情報データベースの拡充に関する調査・研究グループ」において、北海道大学との共同実施事業によるデータ収集を行った。
- ② 「降雨浸透過程モデリングに関する研究グループ」の活動を取りまとめて、終了した。後継の研究グループについて、他学会との連携を含めて計画する方針を確認した。
- ③ 「地下水学の最先端（state of the art）および典型的（classic）学術・技術の調査取り纏め調査・研究グループ」において、『地下水の事典（2024年4月出版予定）』の一次原稿の執筆および構成の編集を行った。
- ④ 「現場透水試験法の海外技術の普及活動に関する研究グループ」において、Butler 著『The Design, Performance, and Analysis of Slug Tests』（2nd Ed, CRC Press, 2020）の翻訳と理解を進め、出版に向けた編集作業を行った。

2. 優れた若手研究者・技術者、研究グループ等の活動助成

- ① 地下水研究に携わる若手研究者・技術者が独創的な着想に基づいて主体的に行う研究を奨励する「2022年度 若手地下水研究助成」への応募3件に対して審査を行い、2件を採択した。
- ② 「2023年度 若手地下水研究助成」を公募した。

[公4] 地下水に関する相談事業

- ① ホームページ「市民コミュニケーション委員会」上にて「地下水ブックガイド」等による情報発信を行った。
- ② 地下水に関する質問の受付と回答を行った（質問件数20件；2022/4/1～2023/3/31）。

[他1] 表彰事業

- ① 名誉会員4名を決定し表彰した。

- ② 永年会員功労賞 22 名を決定し表彰した。
- ③ 2021 年秋季講演会発表の若手優秀講演賞 9 名を表彰した。
- ④ 2022 年春季講演会発表の若手優秀講演賞 4 名（口頭発表 3 名、ポスター発表 1 名）を決定し表彰した。
- ⑤ 2021 年度若手地下水研究助成奨励賞 2 名を決定し表彰した。
- ⑥ 2022 年秋季講演会発表の若手優秀講演賞 8 名（口頭発表 7 名、ポスター発表 1 名）を決定した。

[共通] 共通事業

1. 会議等

- ① 2022 年度定時代議員総会を、現地とオンラインのハイブリッド方式にて 5 月 14 日(土)に開催した。
- ② 理事会を 2022 年 4 月 23 日(土)、5 月 14 日(土)、6 月 11 日(土)、8 月 20 日(土)、10 月 8 日(土)、12 月 24 日(土)、2023 年 2 月 11 日(土)に現地とオンラインのハイブリッド方式にて開催した。
- ③ 各常設委員会において会議を開催した（メール開催、オンライン開催を含む）。

2. 国内外関連団体交流

- ① 国際水文地質学会（International Association of Hydrogeologists）日本支部の事務局を当学会内におき、その事務業務の一部を行った。
- ② 日本地球惑星科学連合（Japan Geoscience Union）の各種委員会に委員を派遣した。
- ③ 日本地球惑星科学連合の代議員選挙において学会内の事務業務を行った。
- ④ Hydrological Research Letters 誌運営委員会に委員を派遣した。
- ⑤ Hydrological Research Letters 誌の編集委員会に編集幹事 1 名、編集委員 2 名を派遣した。
- ⑥ 全米地下水協会（National Ground Water Association ; NGWA）との協定を継続した。
- ⑦ 春季講演会において国際水文地質学会（International Association of Hydrogeologists）日本支部と国際セッションを共催した。

3. 学会情報普及に関する活動

- ① 学会員を含む広く一般の方々を対象に、ホームページ上に学会および関連団体等の最新情報を掲示・更新した。
- ② 2022 年度（2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日）のホームページアクセス数は、234,203 件であった。
- ③ メール配信を希望する会員を対象に、メールニュースを発信した。
- ④ インターネットを通じた学会運営の効率化を図った。
- ⑤ 英文ホームページを運用した。
- ⑥ ソーシャル・ネットワーキング・サービスを利用して学会情報を発信した。

4. 会計

- ① 公益目的事業毎の会計体系内で、収支相償、公益目的事業比率 50%以上の確保、遊休財産額の保有制限等の認定条件を維持するよう運営・管理した。
- ② 未納会費の徴収、経費の節減に取り組んだ。
- ③ 特定費用準備資金等の積立要件や取り扱いについて検討し、特定費用準備資金等取扱規程を理事会で制定した。
- ④ 2023 年 10 月から施行されるインボイス制度への対応方針について、本制度施行後も当学会は適格請求書発行事業者の登録を行わず、免税事業者を継続することを理事会で確認した。

5. 若手支援・男女共同参画に関する活動

① 若手交流会

日時：2022年5月21日(土)

場所：東京農工大学，オンライン（ハイブリッド形式）

参加者数：28名

② 若手セミナー

日時：2022年10月27日(木)

場所：松本商工会議所，オンライン（ハイブリッド形式）

参加者数：44名

③ 春季・秋季講演会の会期中における子供の保育支援のニーズについて、アンケート調査を実施した。

④ 講演会の会期中における子供の保育支援を計画・公募した。

6. 技術者継続教育に関する活動

① ジオ・スクーリングネット、日本技術者教育認定機構(JABEE)等へ参加した。

② ジオ・スクーリングネットのシステムを通じて、会員のCPD登録対応を行った。

以上

貸借対照表（2022年度）

2023年03月31日 現在

(単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部		
【流動資産の部】		12,799,369	【負債の部】	4,392,195
現金等	事務局	1,348	未払金	0
振替貯金	ゆうちょ銀行（社団法人口座）	7,094,248	預り金	139,795
普通預金	みずほ銀行（社団法人口座）	4,014,708	前受金	4,252,400
	みずほ銀行（小口座）	817,823		
	みずほ銀行（寄附金口座） （特定寄附金112万円を除く、利息分のみ）	50		
仮払金	行事委員会、市民コミュニケーション委員会	300,000		
未収金		0		
前払金	前払家賃(4月～8月分)	550,000		
	労働保険概算保険料	21,192		
【固定資産の部】		1,508,562	【正味財産の部】	9,915,736
特定資産	特定寄附金A（調査・研究委員会活動費）	700,000	指定正味財産	1,120,000
	特定寄附金B（地下水学振興基金:若手研究者の研究進化）	420,000		
	特定寄附金C（若手交流会等助成金）	0	一般正味財産	8,795,736
その他の固定資産	敷金	300,000		
	什器備品	88,562		
資産合計		14,307,931	負債・正味財産合計	14,307,931

貸借対照表（前年度比較）

2023年03月31日 現在

(単位:円)

科目	当年度末	前年度末	増減
	2023/03/31	2022/03/31	
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,928,177	9,596,336	2,331,841
現金手許有高	1,348	123	1,225
振替貯金	7,094,248	6,339,192	755,056
ゆうちょ銀行(社団法人口座)	7,094,248	6,339,192	755,056
普通預金	4,832,581	3,257,021	1,575,560
みずほ銀行(社団法人口座)	4,014,708	2,836,123	1,178,585
みずほ銀行(小口座)	817,823	420,854	396,969
みずほ銀行(寄附金口座)	50	44	6
仮払金	300,000	300,000	0
行事委員会	100,000	100,000	0
市民コミュニケーション委員会	200,000	200,000	0
未収金	0	0	0
前払金	571,192	570,729	463
前払家賃	550,000	550,000	0
労働保険概算保険料	21,192	20,729	
流動資産合計	12,799,369	10,467,065	2,332,304
2. 固定資産			
特定資産	1,120,000	700,000	420,000
特定寄附金 A (調査・研究委員会活動費)	700,000	700,000	0
特定寄附金 B (地下水学振興基金)	420,000	0	420,000
特定寄附金 C (若手交流会等助成金)	0	0	0
その他の固定資産	388,562	477,122	-88,560
敷金	300,000	300,000	0
什器備品	88,562	177,122	-88,560
固定資産合計	1,508,562	1,177,122	331,440
資産合計	14,307,931	11,644,187	2,663,744
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
預り金	139,795	137,055	2,740
行事委員会	114,000	94,000	20,000
その他	25,795	43,055	-17,260
前受金	4,252,400	4,101,600	150,800
前受会費	4,252,400	4,101,600	150,800
流動負債合計	4,392,195	4,238,655	153,540
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	4,392,195	4,238,655	153,540
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	1,120,000	700,000	420,000
2. 一般正味財産	8,795,736	6,705,532	2,090,204
正味財産合計	9,915,736	7,405,532	2,510,204
負債および正味財産合計	14,307,931	11,644,187	2,663,744

貸借対照表 内訳表 (2022年度)

2023年03月31日 現在

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 等会計	法人会計	内部取引 消去	合計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	7,156,067	0	4,772,110		11,928,177
現金手許有高	0	0	1,348		1,348
振替貯金	4,256,549	0	2,837,699		7,094,248
ゆうちょ銀行(社団法人口座)	4,256,549	0	2,837,699		7,094,248
普通預金	2,899,519	0	1,933,062		4,832,581
みずほ銀行(社団法人口座)	2,408,825	0	1,605,883		4,014,708
みずほ銀行(小口口座)	490,694	0	327,129		817,823
みずほ銀行(寄附金口座)	0	0	50		50
仮払金	300,000	0	0		300,000
行事委員会	100,000	0	0		100,000
市民コミュニケーション委員会	200,000	0	0		200,000
未収金	0	0	0		0
前払金	0	0	571,192		571,192
前払家賃	0	0	550,000		550,000
労働保険概算保険料	0	0	21,192		21,192
流動資産合計	7,456,067	0	5,343,302		12,799,369
2. 固定資産					
特定資産	1,120,000	0	0		1,120,000
特定寄附金 A (調査・研究委員会活動費)	700,000	0	0		700,000
特定寄附金 B (地下水学振興基金)	420,000	0	0		420,000
特定寄附金 C (若手交流会等助成金)	0	0	0		0
その他の固定資産固定資産	233,138	0	155,424		388,562
敷金	180,000	0	120,000		300,000
什器備品	53,138	0	35,424		88,562
固定資産合計	1,353,138	0	155,424		1,508,562
資産合計	8,809,205	0	5,498,726		14,307,931
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	0	0	0		0
預り金	114,000	0	25,795		139,795
行事委員会	114,000	0	0		114,000
その他	0	0	25,795		25,795
前受金	2,126,200	0	2,126,200		4,252,400
前受会費	2,126,200	0	2,126,200		4,252,400
流動負債合計	2,240,200	0	2,151,995		4,392,195
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	2,240,200	0	2,151,995		4,392,195
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産	1,120,000	0	0		1,120,000
2. 一般正味財産	5,449,005	0	3,346,731		8,795,736
正味財産合計	6,569,005	0	3,346,731		9,915,736
負債および正味財産合計	8,809,205	0	5,498,726		14,307,931

正味財産増減計算書 (2022年度)

2022年04月01日から 2023年03月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	8,546,000	8,675,000	-129,000
正会員受取会費	5,679,000	5,604,000	75,000
準会員受取会費	76,000	120,000	-44,000
特別会員受取会費	2,560,000	2,640,000	-80,000
過年度分受取会費	231,000	311,000	-80,000
事業収益	4,379,809	4,152,532	227,277
公1:学術結果等を収集, 編集, 公表する事業 収益	3,166,600	2,941,411	225,189
公2:講習会, シンポジウム, 見学会開催事業 収益	500,209	133,000	367,209
公3:特定テーマの技術開発, 研究等事業 収益	713,000	1,078,121	-365,121
公4:地下水に関する相談事業 収益	0	0	0
その他事業:表彰事業 収益	0	0	0
受取寄附金	271,000	1,300,000	-1,029,000
受取寄附金	271,000	1,300,000	-1,029,000
雑収入	180,554	166,709	13,845
雑収入	180,554	166,709	13,845
経常収益計	13,377,363	14,294,241	-916,878
(2) 経常費用			
公益事業費	10,088,592	9,998,852	89,740
給料手当	2,609,730	1,794,083	815,648
臨時雇賃金	344,100	493,480	-149,380
会議費	782,802	179,853	602,949
旅費交通費	1,131,442	1,114,260	17,182
通信運搬費	507,595	475,495	32,100
減価償却費	79,704	159,409	-79,705
消耗什器備品費	130,752	0	130,752
消耗品費	2,269	204,160	-201,891
印刷製本費	2,016,428	2,993,133	-976,705
光熱水料費	64,369	57,035	7,334
賃借料	1,201,306	1,514,446	-313,140
保険料	2,172	1,000	1,172
諸謝金	175,324	155,916	19,408
支払負担金	310,000	0	310,000
支払助成金	389,640	499,560	-109,920
委託費	300,300	335,500	-35,200
支払手数料	23,080	9,895	13,185
雑費	17,580	11,628	5,952
その他事業費	259,993	328,267	-68,273
給料手当	144,985	99,671	45,314
旅費交通費	21,638	22,578	-940
通信運搬費	5,920	6,280	-360
減価償却費	4,428	8,856	-4,428
消耗品費	12,234	1,100	11,134
光熱水料費	3,576	3,169	407
賃借料	66,739	66,739	0
支払手数料	0	770	-770
雑費	473	119,103	-118,630
管理費	938,573	1,287,755	-349,181
給料手当	144,985	99,671	45,314
福利厚生費	16,566	15,879	687
臨時雇賃金	46,800	12,000	34,800
会議費	4,988	0	4,988
旅費交通費	21,638	22,578	-940
通信運搬費	326,778	305,474	21,304
減価償却費	4,428	8,856	-4,428
消耗什器備品費	33,600	288,539	-254,939
消耗品費	103,609	90,045	13,564
光熱水料費	3,576	3,169	407
賃借料	66,739	66,739	0
保険料	18,440	0	18,440
諸謝金	5,000	0	5,000
支払負担金	0	298,078	-298,078
支払助成金	0	58,126	-58,126
支払手数料	130,010	8,855	121,155
雑費	11,416	9,745	1,671
経常費用計	11,287,159	11,614,873	-327,714
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	2,090,204	2,679,368	-589,164

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,090,204	2,679,368	-589,164
一般正味財産期首残高	6,705,532	4,026,164	2,679,368
一般正味財産期末残高	8,795,736	6,705,532	2,090,204
II 指定正味財産増減の部			
受取寄附金	420,000	0	420,000
受取寄附金	420,000	0	420,000
一般正味財産への振替額	0	300,000	-300,000
一般正味財産への振替額	0	300,000	-300,000
当期指定正味財産増減額	420,000	-300,000	720,000
指定正味財産期首残高	700,000	1,000,000	-300,000
指定正味財産期末残高	1,120,000	700,000	420,000
III 正味財産期末残高	9,915,736	7,405,532	2,510,204
IV 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
V 正味財産期末残高	9,915,736	7,405,532	2,510,204

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産の減価償却は、定率法を採用している。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

当期末における基本財産及び特定資産の増加額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
特定寄付金 A	700,000	0	0	700,000
特定寄付金 B	0	420,000	0	420,000
特定寄付金 C	0	0	0	0
小 計	700,000	420,000	0	1,120,000
合 計	700,000	420,000	0	1,120,000

注) 特定寄付金 A：調査・研究委員会活動費

特定寄付金 B：地下水学振興基金（若手研究者の研究進化）

特定寄付金 C：若手交流会等助成金

3. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	354,243	265,681	88,562
合 計	354,243	265,681	88,562

以上

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産および特定資産については、財務諸表に対する注記2.に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

当期末において、引当金を計上していない。

以上

2022年度 財産目録

2023年03月31日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
【資産の部】			
I 流動資産			
1 現金預金			11,928,177
1) 現金	手元保管	運転資金として	1,348
2) 振替貯金	ゆうちょ銀行(社団法人口座)	運転資金として	7,094,248
3) 普通預金	みずほ銀行(社団法人口座)	運転資金として	4,014,708
	みずほ銀行(小口口座)	運転資金として	817,823
	みずほ銀行(寄附金口座)	寄附金金利分として(特定寄附金112万円を除く)	50
2 未収金			0
3 仮払金			300,000
	行事委員会会計	2023年度委員会 運営費用仮払い	100,000
	市民コミュニケーション委員会会計	2023年度委員会 運営費用仮払い	200,000
4 前払金			571,192
	フクダエステート	事務局家賃(4月～8月分)	550,000
	東京労働局中央労働基準監督署	労働保険概算保険料(2022年度分)	21,192
流動資産合計			12,799,369
II 固定資産			
1 特定資産			1,120,000
1) 特定寄附金A	みずほ銀行(寄附金口座)	調査・研究委員会活動費	700,000
2) 特定寄附金B	みずほ銀行(寄附金口座)	地下水学振興基金(若手研究者の研究進化)	420,000
3) 特定寄附金C	みずほ銀行(寄附金口座)	若手交流会等助成金	0
2 その他の固定資産			388,562
1) 敷金	フクダエステート	事務局敷金	300,000
2) 什器備品	パソコン1:学会事務局	公益目的保有財産であり, 公1～公4, その他事業および管理事務に使用している	25,928
	パソコン2:学会事務局	公益目的保有財産であり, 公1～公4, その他事業および管理事務に使用している	36,362
	パソコン3:学会事務局	公益目的保有財産であり, 公1～公4, その他事業および管理事務に使用している	26,272
固定資産合計			1,508,562
資産合計			14,307,931
【負債の部】			
I 流動負債			
1 未払金			0
2 預り金			139,795
	行事委員会会計	2023年度春季講演会会費 預り金	114,000
	事務局経費	事務局員所得税源泉徴収・雇用保険料 預り金	25,795
3 前受金	2023年度分会費	公益目的事業, 法人会計に関わる前受分	4,252,400
流動負債合計			4,392,195
II 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			4,392,195
正味財産			9,915,736

2022 年度 監査報告書

2023 年 4 月 21 日

公益社団法人 日本地下水学会
代表理事 会長 徳永 朋祥 殿

公益社団法人 日本地下水学会

監事 深田 園子



監事 高坂 信章



私たち監事は、2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日までの 公益社団法人 日本地下水学会 第 13 期事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局等と意思疎通を図り、情報の取集及び監査の環境整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び事務局等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局等において業務及び財産の状況を調査いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産諸表に対する注記）及び附属明細書等について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及び附属明細書は、法令及び定款に従い、公益社団法人 日本地下水学会の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及び附属明細書は、公益社団法人 日本地下水学会の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上